

大阪城公園いきもの価値創造ストーリー

「都心の公園でも豊かな自然とのふれあいの場、多様な主体のパートナーシップによる協働」

= (①半自然草地の創出 + ②自然体験プログラム) × パートナーシップ



パートナーシップ:

- ・大阪府 (生物多様性センター)、大阪市 (建設局、環境局)
- ・大阪自然環境保全協会
- ・大阪城PMO
(大和ハウス、大和リース、他)
- ・市民の方

①半自然草地の創出

一様に低く刈らずに草丈を残して、草原性の昆虫等を増やす



②自然体験プログラムの実施

- ・生物多様性の啓発・普及活動
大阪城公園の自然を体験してもらい、生物多様性や生き物の魅力を知って感じる市民レベルでの生物多様性主流化の取り組み
- ・保全活動のアウトリーチ
サスレポやWEBなどで効果的な発信



自然観察・自然体験 森での様子

草本管理方法:

- ・従来の草刈りは、地際で刈っていたが、膝丈で頻度を減らし、草本層の発達を促す粗放管理とする。

※社員ボランティア等の積極的活用

- ・エリア内一律に粗放管理とするのではなく、区画毎にローテーションする。(おおよそ遠路区画ごと)

- ・粗放管理区画には、表示看板を設置する。
- ・生物モニタリング(協力:生物多様性センター)
植物相、昆虫相の調査(秋口頃)
また、観察会の記録を残すなど、
市民科学的手法もあわせて活用していく。



・7月2日確認
(トノサマorクルマバツタの幼体)

- ・大阪自然環境保全協会様との協働
- ・継続的なイベント開催
社内外への参加呼びかけ(開催側、参加側とも)